



軟球会(ソフトバレーボール)

東北大会上位狙う

6月に盛岡市で行われた第25回県ソフトバレーボール大会で、前回に続きトリム・フリーの部、メンズの部の2部門を制した。

9月22日に宮城県仙台市体育館で開催する東北ブロックフェスティバルの出場を決めた。

バドミントンのダブルスのコートを使用するソフトバレーボールは、1チーム4人でプレー。ゴム製約220gのボールは柔らかいものの、スピード感抜群。強烈なアタック、回転を生かしたサーブ、低いネットの上で展開する多彩な攻撃のパリエーション…。競技の奥深さが人気を集める。

「スピードを求め過ぎて自滅することが多い」と菅原亮太主将。攻撃力はトップクラスの軟球会。課題は試合を通じた安定感。悪い流れをどう断ち切るか。「1本目のレシーブを確実にしたい」と強敵がそろった東北ブロック大会を見据える。

練習では真剣な表情ながらもにぎやかにプレー。得点が決まるとに会場に歓声が響く。正確なレシーブ、フォーメーション、アタックのコンビネーションなど確認することはたくさん。勝つための練習が続いている。

昨年の東北ブロック大会では、他の大会日程と重なり主力メンバーが抜ける厳しい戦いとなったが、今回は万全の体制。「上位に食い込みたい」と菅原主将。チーム全員で全力プレーを誓う。

チームでは現在、新規メンバーを募集中。練習は毎週木曜日午後7時から江刺・愛宕小学校体育館で。問い合わせは奥州市バレーボール協会HP

(<http://ovanobody.jp>)まで。(山田悟史)

